

東大阪こころの健康講座

「精神科医療におけるスポーツの意義」

～リカバリーに向けて～

講師 NPO法人日本ソーシャルフットボール協会 理事長
大阪精神医学研究所
新阿武山病院 院長 **岡村武彦** 氏



バレーボールやフットサルなど精神障がい者スポーツが本格的に実施されるようになって15年がすぎました。これらの活動は精神科医療の現場でどのような意味があるのかを薬物療法やリカバリー等との関連からお話したいと思います。

【日時】平成30年(2018年)1月21日(日) 13:00～16:00

【場所】東大阪市阪本病院 なかまの家
(近鉄大阪線 長瀬駅下車 徒歩8分)



無料



申し込み不要 (先着100名)
どなたでもご自由にご参加ください



主催：東大阪市精神障がい者家族会
阪本病院家族SST交流会
東大阪なごみ会 東大阪ふよう会

後援：東大阪市

問い合わせ：阪本病院家族SST交流会

080-2517-6939 (川辺携帯)

メールアドレス:s-kawabe@sakai.zaq.ne.jp